

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月23日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年5月27日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University Long Beach(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	32,700 人
創立年	1949 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$USドル)	日本円	備考
授業料	13,600	1,972,000 円	
宿舍費	13,646	1,978,670 円	
食費	4,852	703,540 円	
図書費	120	17,400 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	310	45,000 円	
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	0	0 円	
保険費	2,236	324,315 円	形態:
渡航旅費	1,941	281,500 円	
ビザ申請費	160	23,200 円	
雑費		円	
その他	-9,451	-1,370,500 円	明治大学留学奨励金
その他		円	
合計	27,414	3,975,125 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:ロサンゼルス 経由地:

復路 出発地:ロサンゼルス 目的地:羽田 経由地:

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:JAL

料金:¥281,500

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

航空券購入方法

旅行代理店(店名:)

インターネット(サイト名:JAL)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:International House) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

留学先大学から送られてくる手続き案内に沿って寮の申請をした。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

International House は、留学生が多く他国の学生との関わりが多かったため非常に活気があった。キャンパス内にあるため、教室まで徒歩で通える点も良かった。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

事前にネットなどで危険地域情報を集めた。また、日没後は極力出歩かないようにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

サクッとSIMというSIMカードを日本で事前に購入した。大学と寮のインターネット環境は良好で使いやすかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードと、キャッシュパスポートを利用した。キャッシュパスポートは、クレジットカード、デビットカードとして利用でき、現金の引き出しも可能なもので、日本で事前に入金をした。銀行口座は開設しなかったが、友人と出かけた際の資金のやり取りが不便に感じた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

文房具類、薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Gender, Race, Sex, and Societies	ジェンダー学
科目設置学部・研究科	LA
履修期間	2023 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Mariam Youssef
授業内容	Introduction to some of the basic questions raised by feminist movements and writings in response to the socio-political subordination of women emergent through the organization of race, class, gender, and sexuality in contemporary societies.
試験・課題等	毎授業資料を読んでくる課題と、週1回それに対する A4 一枚程度のレポートを書く課題があった。期末試験は、事前に提示された質問に対して回答する筆記テストが行われた。
感想を自由記入	アメリカ社会における人種問題とジェンダーの関係や、フェミニズムの歴史などを学ぶことができ非常に刺激的で最も興味のある授業であった。課題は定期的に出されるもおの、それにじっくり取り組むことで授業で学ぶ内容を補うことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Hospitality Management	ホスピタリティ・マネジメント
科目設置学部・研究科	FCS
履修期間	2023 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Sungjun Joe, Ph.D.
授業内容	Introduction to the hospitality industry and historical overview of field. Careers in hospitality management defined. Explore relationship of careers to community and foodservice and hotel/lodging industry. Overview of organization and current forces shaping foodservice and hotel operations.
試験・課題等	週1~2つ程度の課題と、2回のグループプレゼン、1回の個人プレゼン。中間試験、期末試験はオンラインテスト。
感想を自由記入	ホスピタリティ業界について、その職種や、業界のトレンドや課題などを包括的に学んだ。ホスピタリティ業界について体系的に知ることができ、日本とアメリカの違いなども学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fundamentals of French	フランス語
科目設置学部・研究科	LAB
履修期間	2023 秋
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回
担当教授	Najib Redouane
授業内容	This course is designed to introduce to the French language and the cultures where French is spoken. A variety of classroom and laboratory activities will introduce and develop French language skills in four areas: listening, speaking, reading, and writing.
試験・課題等	クイズ、ライティング課題、中間試験は筆記、期末試験は筆記とスピーキング。
感想を自由記入	クラス内で教科書に沿ってスピーキングをする機会が多かったため、文法に発音も同時に学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Yoga I		ヨガ	
科目設置学部・研究科	KIN		
履修期間	2023 秋		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実技(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回		
担当教授	Amanda Tropeano		
授業内容	Develop a knowledge of the subject of hatha yoga. Increase awareness of his/her body while moving. Contribute to the development of flexibility, balance, strength and coordination. Develop the ability to consciously control tension and relaxation of the body. Develop the ability to use methods of concentration on specific movements. Become aware of and develop yogic breathing patterns. Develop an awareness of the musculature of the body. Contribute to the development of a positive self-image. Learn a basic technique of meditation of the breath.		
試験・課題等	中間・期末試験は簡易的なグループワークだった。		
感想を自由記入	初心者でもわかりやすく、リラックスできる授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Self Defense I		セルフディフェンス	
科目設置学部・研究科	KIN		
履修期間	2023 秋		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実技(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回		
担当教授	Dong-Quan Ha		
授業内容	Display self-defense knowledge and awareness. Predict and avoid dangerous situations, with better communication skills. Memorizing basic self-defense techniques to survive an attack or gain time. Apply the self-defense concept into all aspects of life. Play a more professional role at work. Display a better fitness level.		
試験・課題等	なし		
感想を自由記入	あまり上達を感じられなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to the Fashion Industry	ファッション業界のイントロダクション
科目設置学部・研究科	FMD
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jacquelyn Morell
授業内容	Organization, structure and interrelationship of industries and services that comprise the business of fashion. Terminology, designers, trade organizations and publications. Analysis of trends that influence fashion. Professional opportunities explored.
試験・課題等	4 回のグループプレゼンテーション、数回の授業内アクティビティ、クイズ、オンラインの中間、期末試験
感想を自由記入	ファッション業界の基礎的な用語や、トレンド、課題などを知ることができ、さらに興味が湧いた。講義は面白く、グループプレゼンテーションはグループの人とコミュニケーションを取らなければいけない点が大変でしたが、他のグループの発表を聞くのも刺激的で楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Recreation & Leisure Studies	レクリエーションとレジャー
科目設置学部・研究科	REC
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Katie Dudley Ph.D.
授業内容	This course is designed to provide a survey of public, private, commercial, and nonprofit agencies engaged in leisure services; organizing principles of the recreation and leisure services profession.
試験・課題等	1 回のグループプレゼン、中間試験はオンラインテスト、期末試験はオンラインテストと個人プレゼン、最終レポート。クラス内アクティビティ。
感想を自由記入	クラスに留学生がいなかったためアクティビティなどについていくのが大変だったが、内容は基礎的なもので理解しやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Anthropology	人類学
科目設置学部・研究科	LA
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Steven Rousso-Schindler
授業内容	This course is an introduction to cultural anthropology. By examining cultural difference in the world-at-large, the field of anthropology explores and challenges the assumptions that we all hold about what is “natural,” “normal” and “true.” The combination of lectures, films and readings are designed to prepare students to engage current ethnographies, as well as to give overviews of central topics, concepts and methods in the discipline. We will discuss topics and concepts such as race and ethnicity, culture, nationalism, kinship, gender, sexuality, political economy, globalization and popular culture. We will also discuss culture areas such as East Asia, Africa, Southeast Asia, the Pacific Islands, the Middle East, Europe and the United States.
試験・課題等	3 回の定期試験があり、50 問の選択問題が出題された。
感想を自由記入	他の文化に対する考え方や、メディアを批判的にとらえる方法などを学ぶことができた。また、パレスチナ問題などの時事問題も授業で取り扱っていたため非常に興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
CHIN 101 Fundamentals of Chinese	中国語
科目設置学部・研究科	Department of Asian and Asian American Studies
履修期間	2024 春
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回
担当教授	Dr. Ruixi Ressay Ai
授業内容	Chinese 101 is a course of elementary Chinese for non-native Chinese speakers. Native speakers of Chinese who have completed compulsory education in China may not enroll. It aims at developing students' elementary communicative skills and knowledge of Chinese language and culture.
試験・課題等	週1回の筆記課題、中間・期末試験は、リスニング、筆記テスト、ペアで行うスピーキングテスト。
感想を自由記入	日本ではなく、アメリカで外国語をどのように教えているのかということも知ることができた。文法や発音など丁寧に教えてくださり、定着させることができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFLの勉強
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	選考、出願
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、寮の申請
	8月～9月	渡航
	10月～12月	期末試験、冬季休暇
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

アメリカの中でも、カリフォルニアは開放的なイメージがあったことや、ロングビーチ校やその周辺地域が活気のあるイメージであったことから留学先として選びました。

留学生活では、コミュニケーションがうまくいかなかったりストレスが溜まったりなど、大変なこともありましたが、それも全て実際に行って体験してみなければわからなかったことだと思います。それ以上に、刺激的な経験が数えきれないほどありました。大学2年というこの時期に留学に行くことができよかったですと感じています。

私は渡航前も渡航後も、緊張したり不安になったりする場面がありましたが、後で振り返り返ると意外どうにかなったと感じました。そのような場面での感情のコントロールの仕方、問題への対処方法を学べたことも良い経験だったと思っています。

留学を決断されたらぜひ存分に楽しんでほしいと思います。